西岡神宮・地域の伝統を守る
～　御獅子舞の披露　～

前途洋々

西岡神宮では、毎年１０月１９日に、国家安泰と五穀豊穣を祈願する伝統の「秋季大祭（例大祭）」が開催されています。今年も、この例大祭において、御獅子舞が披露されました。宇土市のＨＰを見てみると、次のような説明がありました。「宇土御獅子舞は、雌雄一対（角が２本あるのが雄で１本が雌）、２人立の獅子舞です。この獅子舞は元文５年（１７４０）、宇土藩５代藩主細川興文（おきのり）が西岡神宮に獅子舞を奉納したところから始まっており、興文は武運長久や心願の筋のために獅子舞奉納を思い立ったと伝えられています。舞の型は前段と後段に分かれ、主として前段は山野を馳廻り獅子を捜す玉振りの動作を表し、後段は玉振りと獅子が一体となり楽しく遊ぶ動作を表しています。（以下省略）」本校から、６年・３年の水口さん兄弟が、重要な役として舞を披露してくれました。伝統を継承していくことがどんどん難しくなっている昨今、その勇猛かつ華やかな姿は大変素晴らしかったです。改めて地域の伝統文化のよさを感じる貴重な機会でした。（**写真左：二人とも素晴らしかったです！　右：例大祭の様子**）







５年生が那須農園様で稲刈り体験！　貴重な体験ができました！

１０月１６日（金）の午前中、いつも大変お世話になっている那須農園様にご協力いただき、５年生が稲刈り体験をすることができました。以前お伝えしたとおり、５年生は同じ場所で６月に田植えをさせていただいています。その収穫の体験でした。鎌を使って稲を刈る作業はめったに経験できることではないと思いますが、毎日食べているお米の生長した姿をしっかり見ることで、食べ物に対する感謝の気持ちも高まったことと思います。そして、この時期の田んぼの匂い、土の匂いは、季節を感じさせるもの。私にとっても、小さい頃の記憶とセットになっています（そういう方も多いでしょう）。とても落ち着く、郷愁にあふれる匂いですよね。さて、様子を覗かせていただくと、子供たちは元気に、張り切って作業をしていました！とても楽しそうです！鎌で刈る「ザクッ」という感触も心地よく、あっという間に指定の場所を刈り終えてしまいました。品種は「ヒノヒカリ」で、今後子供たちが学校で炊いていただくことになっています。これも楽しみですね。最高の味がすることでしょう。（**写真右：稲刈り中にポーズを決めてくれました、左：コンバインに刈った稲を投入しています**）





大変お世話になりました！～　引き渡し訓練

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様のお陰をもちまして、１０月１６日（金）の午後、引き渡し訓練を無事に終了することができました。平成２８年熊本地震・令和８年熊本地震ともに、子供が学校にいない時間帯に発生しており、「もし、地震が、子供たちが学校にいる時間帯に発生したらどのように動くか」ということを念頭に、子供たちの命を守るための安全計画を再検討した結果実施したものです。保護者の皆様には、時間や通行のルールなどにご協力いただき、誠にありがとうございました。想定よりスムーズに進んだことをここにご報告いたします。また、区長様をはじめとする地域の皆様には、本訓練に対するご理解と文書の配付などにご協力いただき、大変ありがたかったです。今後、方法等をよりよいものにするため更に検討を重ね、この訓練が、いざというときの確実な対策に資するものとなるよう引き続き取り組んでいきます。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



